



2025年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年8月6日

上場会社名 株式会社 南陽
コード番号 7417 URL <https://www.nanyo.co.jp/>

上場取引所 東 福

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 篠崎 学

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 井上 毅

TEL 092-472-7331

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日～2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	8,612	10.5	629	15.2	750	9.7	486	8.7
2024年3月期第1四半期	9,618	0.0	742	3.0	831	6.5	533	8.1

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 632百万円 (19.6%) 2024年3月期第1四半期 786百万円 (24.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	38.97	
2024年3月期第1四半期	41.81	

(注) 当社は2024年4月1日付けで普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	40,801	24,788	60.8
2024年3月期	42,886	24,692	57.6

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 24,788百万円 2024年3月期 24,692百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		15.00		86.00	101.00
2025年3月期					
2025年3月期(予想)		10.00		30.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

・2024年3月期期末配当金の内訳 普通配当 79円00銭 記念配当 7円00銭

・当社は2024年4月1日付けで普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2024年3月期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。なお、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定すると、2024年3月期の配当金の額は第2四半期末7.50円、期末43.00円、合計50.50円となります。

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	17,000	6.0	1,050	12.6	1,100	19.4	700	19.6	56.05
通期	36,500	3.9	2,450	12.0	2,600	14.4	1,650	17.2	132.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期1Q	13,230,140 株	2024年3月期	13,230,140 株
期末自己株式数	2025年3月期1Q	741,122 株	2024年3月期	741,122 株
期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期1Q	12,489,018 株	2024年3月期1Q	12,757,542 株

(注)当社は2024年4月1日付けで普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「期末発行済株式数(自己株式を含む)」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数(四半期累計)」を算定しております。

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- ・業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページの「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、引き続きインバウンド需要が増加傾向にあるほか、定額減税の実施や企業の賃上げにより実質賃金の改善が進む等、緩やかな回復基調が継続しました。その一方で、自動車の品質不正問題、世界的な資源・原材料価格の高騰、円安傾向の継続、世界経済の減速や人手不足による供給制約等、景気の下振れ要因も引き続き懸念されることから、先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループの連結業績につきましては、概ね計画通りに推移し、売上高は8,612百万円（前年同期比10.5%減）、営業利益は629百万円（前年同期比15.2%減）、経常利益は750百万円（前年同期比9.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は486百万円（前年同期比8.7%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 建設機械事業

建設機械事業におきましては、部品不足に伴う長納期化の影響が継続したほか、建設機械の値上げ前駆け込み需要の反動減が顕在化する等、厳しい状況で推移する中、販売部門においては先行手配した値上げ前の機械を中心に、納期及び価格の両面から取引先への需要喚起をはかるとともに、メーカーと協業し提案力の強化にも努めてまいりました。また、レンタル部門においても、民間工事需要の取り込みに注力いたしましたが、販売部門における駆け込み需要の反動減と商品価格の高騰に伴う購買意欲の減少により、売上高は3,293百万円（前年同期比5.1%減）となりました。その一方で、セグメント利益につきましては、レンタル部門におけるレンタル機械の稼働率が向上したことにより474百万円（前年同期比5.2%増）となりました。

② 産業機器事業

産業機器事業におきましては、半導体市場においては在庫調整が一巡したことから、正常化に向けて緩やかな回復基調が継続した一方で、中国経済の停滞や資源価格高騰による影響で工場の稼働状況については未だ本格的な回復には至らず、厳しい状況で推移する中、AI・IoT関連の商品や、生産部品・消耗部品の拡販に努めてまいりました。しかしながら、一部の市場において、世界経済の先行き不透明感の影響等による設備投資抑制や減産傾向の動きが継続したことから、売上高は5,142百万円（前年同期比14.7%減）、セグメント利益は333百万円（前年同期比23.2%減）となりました。

③ 砕石事業

砕石事業におきましては、事業を展開する地域においては、スポット的に大口の公共工事需要が発生した一方で、物価や資源価格の高騰による影響が継続する等、厳しい状況で推移する中、営業活動の強化による地域周辺工事の取り込みに注力するとともに、廃材の受入や販売単価の交渉にも努めてまいりました。この結果、売上高は176百万円（前年同期比46.3%増）となりましたが、生産設備の故障による修繕費の発生や燃料費高騰による輸送コストの増加等により、セグメント利益は6百万円（前年同期比25.8%減）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

資産は、前連結会計年度に比べ2,084百万円減少（4.9%減）し、40,801百万円となりました。増減の主な内容は、受取手形及び売掛金が1,332百万円、現金及び預金が1,075百万円それぞれ減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度に比べ2,180百万円減少（12.0%減）し、16,013百万円となりました。増減の主な内容は、支払手形及び買掛金が1,632百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度に比べ95百万円増加（0.4%増）し、24,788百万円となりました。増減の主な内容は、その他有価証券評価差額金が76百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は60.8%と前連結会計年度に比べ3.2ポイント上昇いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期の業績は、概ね計画どおりに推移しており、業績予想の修正はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,179	6,104
受取手形及び売掛金	11,135	9,803
電子記録債権	3,678	4,327
商品及び製品	3,194	2,968
仕掛品	570	524
原材料及び貯蔵品	38	35
その他	948	1,137
貸倒引当金	△448	△457
流動資産合計	26,296	24,442
固定資産		
有形固定資産		
貸与資産(純額)	8,426	8,098
その他(純額)	3,388	3,443
有形固定資産合計	11,814	11,542
無形固定資産		
のれん	340	318
その他	367	350
無形固定資産合計	707	669
投資その他の資産		
投資有価証券	3,672	3,774
その他	417	396
貸倒引当金	△22	△23
投資その他の資産合計	4,067	4,147
固定資産合計	16,589	16,359
資産合計	42,886	40,801

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,315	5,682
電子記録債務	5,688	5,361
短期借入金	1,000	1,000
1年内返済予定の長期借入金	1	—
リース債務	808	748
未払法人税等	480	170
賞与引当金	409	203
役員賞与引当金	92	19
その他	978	1,305
流動負債合計	16,775	14,491
固定負債		
その他の引当金	440	442
退職給付に係る負債	408	406
その他	569	671
固定負債合計	1,417	1,521
負債合計	18,193	16,013
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,181	1,181
資本剰余金	1,032	1,032
利益剰余金	20,896	20,846
自己株式	△556	△556
株主資本合計	22,555	22,505
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,708	1,785
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	428	498
その他の包括利益累計額合計	2,137	2,283
純資産合計	24,692	24,788
負債純資産合計	42,886	40,801

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)
売上高	9,618	8,612
売上原価	7,801	6,780
売上総利益	1,817	1,832
販売費及び一般管理費	1,075	1,202
営業利益	742	629
営業外収益		
受取利息	17	19
受取配当金	22	23
持分法による投資利益	7	7
為替差益	21	45
その他	24	32
営業外収益合計	94	127
営業外費用		
支払利息	5	5
その他	—	0
営業外費用合計	5	6
経常利益	831	750
特別利益		
固定資産売却益	0	—
投資有価証券売却益	—	10
特別利益合計	0	10
特別損失		
固定資産除却損	2	—
投資有価証券評価損	12	—
特別損失合計	14	—
税金等調整前四半期純利益	817	760
法人税、住民税及び事業税	172	179
法人税等調整額	110	94
法人税等合計	283	274
四半期純利益	533	486
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	533	486

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)
四半期純利益	533	486
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	215	77
繰延ヘッジ損益	5	△0
為替換算調整勘定	24	54
持分法適用会社に対する持分相当額	8	15
その他の包括利益合計	253	146
四半期包括利益	786	632
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	786	632
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建設機械事業	産業機器事業	砕石事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,472	6,025	120	9,618	—	9,618
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6	8	—	14	△14	—
計	3,479	6,033	120	9,633	△14	9,618
セグメント利益	450	434	8	893	△151	742

(注) 1 セグメント利益の調整額△151百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建設機械事業	産業機器事業	砕石事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,293	5,142	176	8,612	—	8,612
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	2	—	5	△5	—
計	3,296	5,145	176	8,618	△5	8,612
セグメント利益	474	333	6	813	△184	629

(注) 1 セグメント利益の調整額△184百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	488百万円	519百万円
のれんの償却額	19百万円	21百万円